



2011・国際森林年

森林総合研究所 REDD 研究開発センター
平成23年度第1回公開セミナー

実践から学ぶ REDDプラス

～国際交渉・現場と研究開発をつなぐ～

基調講演：気候変動交渉におけるIPCCと科学者の役割

財団法人地球環境戦略機関 上級コンサルタント

IPCC インベントリタスクフォース共同議長 平石 尹彦 氏

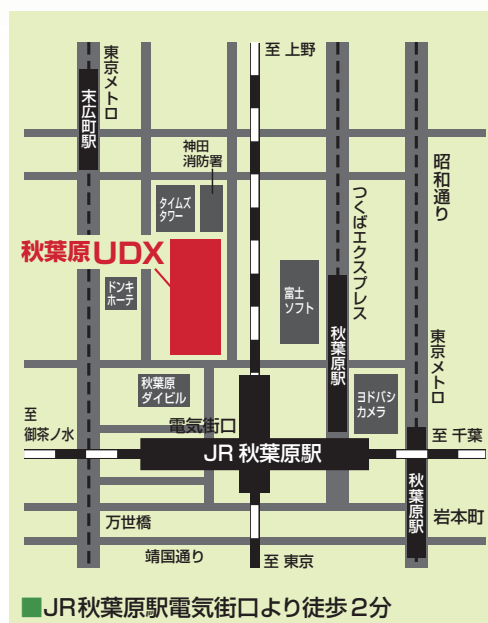
10/13・14
9:45～17:00 9:20～17:00

UDXカンファレンス 東京都千代田区外神田 4-14-1

定員 200名 (参加無料。公式サイトから事前登録が必要です)

<http://www.redd-plus.jp/>

日 時	講演概要
13日 9:45～10:15	オープニング
10:15～10:35	基調講演 気候変動交渉における IPCC と科学者の役割
10:35～11:55	セッション1 REDD プラス—その枠組と国家戦略
11:55～14:00	ポスターセッション: REDD プラスのための研究開発とその未来
14:00～15:20	セッション2 REDD プラス現場からの報告
16:40～17:00	総合討論(1) REDD プラスの研究開発には何が求められているのか? 研究者への直言
14日 9:20～11:20	セッション3 森林炭素モニタリングへの道筋
11:20～11:50	総合討論(2) 衛星データはどこまで使えるのか?
11:50～13:00	ポスターセッション: REDD プラスのための研究開発とその未来
13:00～14:30	セッション4 REDD+ のガバナンス、セーフガード
14:30～14:50	総合討論(3) REDD プラスを社会の中でどう運用するか?
15:10～16:10	セッション5 REDD プラスの制度設計
16:10～17:00	総合討論(4) REDD プラスクレジットメカニズムへの道のりは?



森林総合研究所 REDD 研究開発センター 平成 23 年度第1回公開セミナー

実践から学ぶ REDD プラス ～国際交渉・現場と研究開発をつなぐ～



2011・国際森林年

セミナー開催概要

発展途上国における森林の減少および劣化に伴う二酸化炭素の排出の削減と森林保全等(REDDプラス)は、地球温暖化緩和策の一つとして気候変動枠組条約(UNFCCC)締約国会議等で検討が進められています。このような中、途上国の現場では、既に民間ベースの取組も実施されており、地球温暖化防止に対する関心の高まりとともに、そのさらなる推進が期待されています。

REDDプラスの推進には、気候変動や森林生態系等の自然科学的視点や、森林減少・劣化の原因と対策等に関する社会・経済学的視点が常に求められます。また、MRV(計測、報告、検証)のためのデータの取得や技術開発、セーフガードへの対応等も欠かすことができません。このようなことから、国際交渉に参加する政府関係者、自主的取組みに参画するNGOや民間企業、関連する研究者等の情報共有や有機的な連携が重要となっています。

森林総合研究所REDD研究開発センターでは、REDDプラスの推進に関わる多様な関係者間の情報共有と連携促進を目的として、公開セミナーを開催します。セミナーは2日間にわたって行い、関係省庁、政府機関、NGO、民間企業の実務者による国際交渉やREDDプラス活動の最新の動向に関する講演、関連学会員や研究者によるREDDプラスの研究の動向や今後利用が期待される最新技術に関する講演とポスターセッションを行います。また実務者と研究者による質疑応答や討論を通じて、今後のREDDプラスの推進に向けた研究や技術開発の方向性や関係者間の連携方策について模索していきます。

プログラム概要 (受付開始：両日とも 8:45～)

10月13日(木)		
時間	氏名	役職・所属
9:45	オープニング	
	主催者挨拶	森林総合研究所 理事長 鈴木 和夫
	来賓挨拶	林野庁次長 沼田 正俊
	開催趣旨説明	森林総合研究所 REDD 研究開発センター長 松本 光朗
10:15	基調講演 気候変動交渉における IPCC と科学者の役割	
	平石 尹彦	地球環境戦略研究機関 上級コンサルタント IPCC インベントリタスクフォース共同議長
10:35	セッション1 REDD プラス-その枠組と国家戦略 進行：森林総合研究所 塚田 直子	
	中野 潤也	外務省国際協力局気候変動課
	松澤 裕	環境省地球環境局総務課研究調査室
	長田 稔秋	経済産業省産業技術環境局地球環境対策室
	上田 浩史	林野庁計画課海外林業協力室
11:55	ポスターセッション REDD プラスのための研究開発とその未来/昼休み	
14:00	セッション2 REDD プラス現場からの報告 進行：国際熱帯木材機関 後藤 健	
	池田 修一	国際協力機構 地球環境部
	石井 洋二	海外林業コンサルタント協会
	佐野 滝雄	アジア航測株式会社
	鈴木 圭	日本森林技術協会 事業部森林情報グループ
15:20～15:40	コーヒーブレイク	
	加藤 真男	丸紅株式会社 地球環境プロジェクト部 グリーンプロジェクト課
	浦口 あや	コンサーベーション・インターナショナル・ジャパン
	山田 俊弘	広島大学大学院 総合科学研究科
16:40～17:00	総合討論(1) REDD プラスの研究開発には何が求められているのか?研究者への直言	
18:00	懇親会	

10月14日(金)		
時間	氏名	役職・所属
9:20	セッション3 森林炭素モニタリングへの道筋 進行：東京大学 露木 聡	
	平田 泰雅	森林総合研究所温暖化対応推進拠点
	栗屋 善雄	岐阜大学流域圏科学研究センター
	山形与志樹	国立環境研究所地球温暖化プロジェクト炭素吸収源評価研究チーム
10:20～10:40	コーヒーブレイク	
	島田 政信	宇宙航空研究開発機構宇宙利用推進本部地球観測研究センター
	斎藤 悠樹	次世代宇宙システム技術組合
11:20	総合討論(2) 衛星データはどこまで使えるのか?	
11:50	ポスターセッション REDD プラスのための研究開発とその未来/昼休み	
13:00	セッション4 REDD プラスのガバナンス、セーフガード 進行：森林総合研究所 横田 康裕	
	福嶋 崇	早稲田大学 人間科学部 人間環境科学科
	ラチバガフィ シンチャ	兵庫県立大学大学院 環境人間学部
	岩永 青史	筑波大学大学院 生命環境科学研究科
	山下ノ下麻木乃	地球環境戦略研究機関 自然資源管理グループ
	三柴 淳一	国際環境 NGO FoE ジャパン
	百村 帝彦	九州大学農学部 熱帯農学研究センター
14:30	総合討論(3) REDD プラスを社会の中でどう運用するか?	
14:50～15:10	コーヒーブレイク	
15:10	セッション5 REDD プラスの制度設計 進行：早稲田大学 天野 正博	
	高橋健太郎	地球環境戦略研究機関 市場メカニズムグループ
	仲尾 強	イー・アール・エム日本株式会社サステナビリティマネジメントチーム
	平塚 基志	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 環境・エネルギー部
16:10	総合討論(4) REDD プラスクレジットメカニズムへの道のりとは?	
16:50	まとめ	
17:00	終了	



独立行政法人
森林総合研究所
Forestry and Forest Products Research Institute